

事務事業評価資料

施策名	生物多様性の保全の推進		所管部局課名	農政環境部環境創造局自然環境課					
事業名	シカ大量捕獲用わな整備事業		担当者電話番号	野生鳥獣係 4115					
事業目的	農林業被害の軽減を図り、被害地域拡大及び森林生態系被害を抑制 シカの密度低減を図り、分布拡大を抑制								
事業内容	少人数でも効率的に捕獲できるシカ新型捕獲方式を県が整備して市町に貸与し、重点捕獲地域に設置して捕獲 事業主体：県 当事業の他に、シカ個体群管理事業（75,374千円）、シカ緊急捕獲拡大事業（10,000千円）、市町の一般有害を含めて3万頭を捕獲する。			事業開始年度	平成22年度				
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額			
	事業費	-		-		(18,650 千円) 18,650 千円			
	人件費	-	従事人員	-	従事人員	7,384 千円 従事人員 0.9人			
	総コスト (+)	-	従事人員	-	従事人員	26,034 千円 従事人員 0.9人			
事業の目標	年間捕獲数の拡大			[目標設定理由] 狩猟及び有害捕獲を含めた年間捕獲目標達成のため					
	シカの目撃効率（生息密度指標）1.00以下			[目標設定理由] シカの目撃効率が1.00以下になると、農業被害及び森林被害が抑制されるため					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率（%）		
		目標値	年度				H20	H21	H22
	年間捕獲頭数	2,000頭/年	H22	-	-	2,000頭 (13 千円)	-	-	100.0%
シカの目撃効率（前年との差）	1.00	H23	1.34 (0.13)	1.14 (0.20)	0.89 (0.25)	74.6%	87.7%	112.4%	
評価結果	必要性	・第3期シカ保護管理計画の改訂後、その計画に基づき、シカによる農林業被害等の防止を図るための積極的な捕獲が必要である。							
	有効性	・少人数でも効率的に捕獲できるシカ新型捕獲方式を県が整備して市町に貸与し、重点捕獲地域に設置して捕獲することによって、生息密度の増加を抑制できる。							
	効率性	・少人数でも効率的に捕獲できるシカ新型捕獲方式を整備することで、効率的な捕獲が推進できる。							
	民間・市町との役割分担	・県：事業主体（県10/10）シカ大量捕獲方式の貸与 ・市町：シカ大量捕獲方式の設置、地元調整 ・地元・猟友会：シカの捕獲							
	受益と負担の適正化	・シカは広域に行動して被害を発生させるが、共生が図られていれば、被害の抑制を図ることができる。 ・また、本事業により、被害の抑制が図られるが、追加的利益を生じさせるわけではない。							
方向性	新規	拡充	継続	実施手法の見直し					
	廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定			
実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善 その他			
実施方針説明	・捕獲目標：(H22)2,000頭 ・事業期間：4/1～3/31 ・実施方法：少人数でも効率的に捕獲できるシカ新型捕獲方式を県が整備して市町に貸与し、重点捕獲地域に設置して捕獲								